しのばず自然観察会より 2019-08 2019.09.08

2019年10月の活動 旧小野路城址周辺

と き: 10月13日(日) 途中、屋根がないので雨天中止

集 合:午前10時20分小田急線・京王線 多摩センター駅下のバスターミナル

11番乗車場(到着順にならびます・日大三高行き10:30発車・緑の小旗あり)

注意:バス乗車場は鉄道改札口から少し離れた階下にありますので、必ず余裕を持って 集合時刻までに集まってください。トイレは駅改札内で。バスは**扇橋下車**。

持ち物: 筆記用具、双眼鏡、弁当、飲み物、雨具、敷物

参加費:200円 帰りは旧小野路宿からバスで、鶴川または多摩センターに出ます。 町田市にある旧小野路城址周辺は東京都の歴史環境保全地区に指定され、雑木林や田 園風景が残され、地権者により設立された管理組合やボランティアなどの手で維持され ています。旧小野路宿には、里山交流館のほか、新撰組や自由民権運動ゆかりの品を伝 える小島資料館もあります(13日は休館日)。現当主の小島政孝さんには、1980年に 東京周辺の自然観察ガイドブック「新季節の手帖」をつくった時に寄稿いただきました。

2019年8月の活動 不忍池蓮見 より

今年の蓮見は8月11日(日)、猛暑の中、9名が参加(他に遅刻して会えなかった方がいました)。暑い初夏のせいか、6月半ばから開花した不忍池のハスですが、7月の日照不足もあって、初めに咲いたエリアでは7月に花がほとんどなくなり、この日は夏空復帰のもと、花が少し増えて見えました。それでも、6-7月に開花したあとの逆円錐形の花托が生長して蜂巣になったのを見た人が、「これって去年の実?」と質問、「花托は茶色ですが、付け根から下の花茎部分が緑色だから、今年の実です」といった会話が生まれました。



今年も白花の蓮華は見られませんでした

確認した動植物:コシアキトンボ、シオカラトンボ、コフキトンボ、ギンヤンマ、ウチワヤンマ、アオスジアゲハ、アゲハ、カラスアゲハ、コミスジ、ツマグロヒョウモン、

アブラゼミ、ミンミンゼミ、クマゼミ、ハラビロカマキリ?の幼虫 アオサギ、コサギ、カルガモ、カワウ、スズメ ハス(植栽・花、実)、ガマ(植栽・実)ほかに植栽のマコモなど



しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方 1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: http://sinobazu.extrem.ne.jp 郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000 円 ほかに行事参加費

2018年以前の会費未納の方もお忘れなく! 退会の場合は早めに葉書で事務局へ。

第17回『上野しのばず学習会』のご案内

テーマ:上野公園の歴史(11):博覧会とその遺産(1)

と き: 2019年9月28日(土) 午後2時-4時

時 間:午後1時45分開場 学習会午後2時~4時 交流会と後片付け5時までに終了場 所:「谷中の家」台東区谷中3-17-11 路地に面し壁面を木で格子状に覆った民家です。東京メトロ千駄木駅2出口より徒歩7分、またはJR・京成日暮里駅 北口より徒歩10分、またはJR 西日暮里駅道灌山口より徒歩7分(地図参照)

共催:しのばず自然観察会、上野のお山を学ぶ会 参加費:両会の会員は無料、会員外200円(資料代)

連絡先: 小川潔 (電話 03-3828-8775 当日午後1時20分まで)



上野公園は発足当時から、国を代表する首都の公園という性格付けがされてきました。その象徴的なイベントが、公園開園式のあと間をおかずに開かれた明治10年(1877)の博覧会です。以降、昭和の時代まで、上野公園で計21回の博覧会が行われました。また、大規模施設がそのたびに造られましたが、多くはすぐに取り壊されています。

そうした中で今につながる施設の代表 が博物館です。明治6年のウィーン万国 博覧会参加とこれを受けた町田久成の建 議に端を発した上野公園に大博物館を造 るという構想は、大久保利通によって実 現しました。ここから、現在の東京国立 博物館や上野動物園が生まれていきまし た。

今回は第1回内国博覧会(明治10年)、第2回勧業博覧会(明治14年)を中心に振り返りながら、博物館と動物園のそもそもにも触れたいと思います。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方 1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: http://sinobazu.extrem.ne.jp

『上野しのばず学習会』は上野公園の自然と歴史・暮らしを資料と記憶から再現します。